

庁舎外部に設置する施設・設備を検討中

新庁舎の設計について、庁舎外部に設置する、車庫倉庫やテラス等の施設、掲示板や掲揚塔等の設備の他、電線や電話線、水道や下水道の配管引込み位置等について、建物設計事業者の協力のもと、検討を行っています。

検討にあたっては、敷地造成・外溝設計事業者と協議し、側溝や調整池等の敷地排水施設とも調整を行いながら、適切な位置及び構成を決定していきます。

建築及び外溝造成設計においては、今後も引き続き細部の調整を行っています。

分野	設備例
電気	非常用発電機・燃料タンク、震度計、電気自動車充電器、外灯、引込柱(電線、電話線、公共施設イントラネット線等)
空調	水冷用室外機、地中熱熱交換器
給排水衛生	受水槽、散水栓、マンホールトイレ、管路(上水道、下水道)
案内・広報等	掲示板、国旗掲揚塔、施設表示板、町PR板、郵便ポスト
敷地排水	雨水側溝、調整池、勾配計画

新庁舎コラム 新庁舎の6つの理念④ 「理念3/事務効率の良い庁舎」：①全般

～基本計画・基本設計の6つの理念に沿って、新庁舎建築設計の詳細をご紹介します～

新庁舎は、機能性や活動しやすさ(動線)に配慮し、柔軟な利用を可能とします。

1	執務室	現在分散している窓口を1つの建物に集約し、来庁者の多い部門は1階に集約配置する他、組織変更による人員数変化等に柔軟に対応できる空間利用とする
2	会議室	庁議室、大会議室、中会議室、小会議室の4室を配置する他、大会議室と中会議室の一体利用により、現在より大きな会議の庁内開催を可能とする
3	書庫等	書類量の適正化に配慮しつつ、庁舎裏の倉庫に利用頻度の低い書類等を収納し、庁舎内のスペースを有効活用する
4	議場	床に段差を設けず、正庁機能や災害時機能等、多目的に利用しやすい構造とする他、議会配信設備を設置する
5	委員会室	議会による利用を優先しつつ、議会による利用がない時間には他の会議にも利用可能とする
6	照明	電気使用量の少ないLED照明を主体とする他、照明のスイッチ点灯範囲を細分化し、不要箇所の消灯をしやすくする
7	空調	全館暖房ではなく個別暖房中心とし、部分的利用時に狭い範囲ごとに空調の入切がしやすい構成とする
8	配線	OAフロア(床下配線)の利用により、室内を段差なく移動可能とする